令和元年7月21日執行参議院議員選挙 調査結果の概要

1 年代別の投票行動

(1) 年代別の比較

21 歳 \sim 24 歳 (31.54%) が最も低く、年齢層が上がるとともに、高くなっており、70 歳 \sim 74 歳 (69.32%) で最も高くなり、75 歳 \sim 79 歳以上 (68.02%) から低下している。

(2) 前回参議院議員選挙との比較

前回参院選(H28)と年代別の投票率を比較すると、全世代で前回の 投票率を下回った。

なお、全体の投票率 (公式結果) は、51.77%で、前回参院選の 57.50% に比べて 5.73 ポイント低くなっている。

2 男女別・年代別の投票行動

70 歳以上の各層を除き、女性の方が男性より高くなっているものの、全体の男女別投票率(公式結果)は、男性 52.04%、女性 51.52%で、男性が女性を 0.52 ポイント上回った。

3 地域別・年代別の投票行動

すべての地域で 70 歳代が最も高くなっている。また、区部、市部、郡部 では 20 歳代が最も低くなっており、島部では 10 歳代が最も低い。

なお、地域別の投票率(公式結果)をみると、区部 51.10%、市部 53.27% で、区部が市部を 2.16 ポイント下回っている。

4 区部地域別・年代別の投票行動

特別区をさらに、①都心地域、②城南地域、③城西地域、④城北地域、 ⑤城東地域の5つに分け、地域ごとの概要をまとめている。 なお、26 市 5 町 8 村については、面積が広く、また区部に比較すると人口が集積していないことから、地域を区分けして集計・分析は行っていない。

(注) 平成28年7月10日執行参議院議員選挙を「前回参院選」と略した。

年代別•選挙別推定投票率一覧



